

THE NATIVE CASK

THE CRAFT OF JAPANESE WHISKY.

一期一会を、物語とともに

CASK & FOREST(カスク アンド フォレスト)は、
長い年月をかけて熟成されるウイスキーの製造工程において、
日本特有の気候風土が及ぼす影響と潜在的価値に着目し、
ジャパニーズ・ウイスキーの新たな魅力を引き出していく、
新しいスタイルのジャパニーズ・ウイスキーボトラーズです。

蒸留所から原酒を買い付け、自社のこだわりの方法で熟成・ブレンド・瓶詰めを行い、
独自のブランドとして販売するボトラーズ事業は、
蒸留所とは異なる視点から原酒の個性を引き出し、
多様な味わいや限定商品を市場に提供することが特徴です。

CASK & FORESTが手がける「THE NATIVE CASK」は、
日本各地の蒸留所が持つ個性を、そのままに閉じ込めた限定のプライベートボトルシリーズです。
地域ごとに異なる気候と文化、そして受け継がれてきた技。
すべてが一つの樽(シングルカスク)に宿り、唯一無二の“風味”として立ち上ります。
ウイスキーブリュワリーは、自然と人が積み重ねてきた時間そのもの。
だからこそ、私たちはその背景をひとつひとつ丁寧に伝えながら、
日本のウイスキーの新しい価値を広げていきたいと考えています。

CASK & FOREST

THE NATIVE CASK

THE CRAFT OF JAPANESE WHISKY.



#1 新潟亀田蒸溜所

NIIGATA KAMEDA DISTILLERY

蒸溜年：2021年 / ボトリング年：2025年

樽：バーボンバレル（ファーストフィル） / 麦芽：英国産（ノンビーテッド）

新潟県新潟市。「目指すは、1万人に1人が美味しいと思ってくるウイスキー」を掲げる新潟亀田蒸溜所は、もとは“はんこの大谷”で知られる印鑑販売会社。大のウイスキー好きだった堂田浩之さんが、周囲の反対を押し切り蒸溜所を立ち上げたのは2019年。自家製麦に温調入りの熟成庫など、試行錯誤を重ねて生み出した原酒「ニューポット Peated」は、世界的品評会「ワールドウヰスキー・アワード 2023」にて世界最高賞を受賞しています。

テイスティングノート

CASK & FOREST顧問 土屋 守氏

AROMA

スイートでフルーティ。バニラ、マープルシロップ、蜂蜜。穏やかだがバランスがよく、徐々に桃のコンポート、みかんのシロップ。

FLAVOR

スイートでみかんや桃のフレーバー。コンテンツもしっかりしていて、余韻も長い。加水でよりスイートに。

総合評価

バーボンバレルで熟成させた王道をゆくシングルモルト。雪国らしい、穏やかだが端麗なアロマ・フレーバーがあり、テロワールもしっかり表現されている。コンテンツもあり、複雑なフレーバーがあるので、ごく少量の加水で愉しみたい。あるいは冬にコタツに入りて、みかんを食べながらホットウヰスキーとしても。



土屋 守 CASK & FOREST顧問

1954年、新潟県佐渡生まれ。株式会社ウヰスキー文化研究所代表。CASK & FOREST顧問。スコットランドで出会ったシングルモルトをきっかけに評論家として活躍。1998年に「世界のウヰスキー・ライター」5人の1人に選出。NHK連続テレビ小説「マッサン」のウヰスキー考証を担当。著書に『完全版シングルモルトスコッチ大全』『ウヰスキー完全バイブル』、『土屋守のウヰスキー千夜一夜』など多数。雑誌『Whisky Galore』編集長、東京ウヰスキー＆スピリッツコンペティション実行委員長。

THE NATIVE CASK

THE CRAFT OF JAPANESE WHISKY.



#2 新道蒸溜所

SHINDO DISTILLERY

蒸溜年：2022年 / ボトリング年：2025年

樽：バーボンバレル（ファーストフィル）/ 麦芽：英国産（ビーテッド）

福岡県朝倉市に、老舗の日本酒蔵・篠崎が立ち上げた新道蒸溜所。日本酒づくりで培ってきた伝統的な技術や従来のウイスキーづくりの手法を尊重しつつも、「ウイスキーづくりの新しい道を創る」という想いを込め、革新的な技術や装置などを積極的に取り入れ、個性を追求しています。香りの追求に特に強いこだわりを持ち、科学的根拠をもとに、各工程で香りの成分をしっかりと構築する原酒づくりを行っています。

テイスティングノート

CASK & FOREST顧問 土屋 守氏

AROMA

フレッシュで清冽。心地よいスモーク、焚火。モルティなアロマもあり、瑞々しいプラム、梅の花、桜餅…。

FLAVOR

スイートでジューシー。穏やかなピート。蜂蜜、スパイス。花の蜜のようでもあり、後味にかすかな塩味を感じる。まだ3年だが秀逸なシングルモルトで、日本の

クラフトの質の高さを感じる。少量の加水で、よりバランスが整い、心地よく愉しめる。

総合評価

バランスと総合力の高さで、新道は群を抜いているが、このシングルモルトを見ると、彼らがこだわっている独創性、自然との一体感がよく分かる。たった3年でこのクオリティに達しているのは、驚き以外の何ものでもない。

土屋 守 CASK & FOREST顧問

1954年、新潟県佐渡生まれ。株式会社ウイスキー文化研究所代表。CASK & FOREST顧問。スコットランドで出会ったシングルモルトをきっかけに評論家として活躍。1998年に「世界のウイスキーライター」5人の1人に選出。NHK連続テレビ小説「マッサン」のウイスキー考証を担当。著書に『完全版シングルモルトスコッチ大全』『ウイスキー完全バイブル』、『土屋守のウイスキー一千夜一夜』など多数。雑誌『Whisky Galore』編集長、東京ウイスキー＆スピリッツコンペティション実行委員長。

